

お子さんの発達で気になったら… ～気軽に相談できるところを紹介します～

子育てには、子どもの成長過程で不安など色々なことがあります。一人ひとり違うのが当たり前で、その違いは成長と共に目立たなくなることもあります。が、「どうしてできないのだろう」「なぜこんな行動するのだろう」と、イライラすることはありませんか？



気になることってどんなこと？

ことばのこと

- ・ことばがはっきりしない
- ・声を出すことが少ない

行動のこと

- ・ひどく落ち着きがない
- ・かんしゃくが多い
- ・視線が合うことが少ない
- ・お友達とのトラブルが多いなど

情緒面のこと

- ・切れやすい
- ・感情のコントロールができない
- ・奇声をあげる
- ・泣き叫ぶことが多い

相談場所

☆栗山町子育て支援センター スキップ
☎ 72-1280

受付時間 月曜日～金曜日 8時30分～17時
住 所 栗山町朝日3丁目115番地14
(栗山警察署隣り)

☆栗山町子ども発達サポートセンター
☎ 73-2260

受付時間 月曜日～金曜日 8時30分～17時
場 所 栗山町総合福祉センターしゃるる内
2階

☆住民保健課 健康推進グループ
☎ 73-2256

受付時間 月曜日～金曜日
8時30分～17時15分
場 所 役場新庁舎1階3番窓口



言語聴覚士
藤田 隆博

口の機能や耳の聞こえ、ことばの発達について心配なことがありましたら、いつでもご相談ください。家庭でできるトレーニングや対処法などについてご紹介できるものもあります。0歳の乳幼児から高齢者まで年齢やお困りの内容に合わせた助言ができるかと思います。



臨床心理士
おおたち
大館 徳子

お子さんの発達状況を確認したり、「気になる行動」への対応方法を保護者の方と一緒に考えます。お話する中で、「なるほど」「子どもにとってそういう意味があったのか」と気づきが得られたり、「イライラ」「モヤモヤ」を言葉にして外に出すことで気持ちが軽くなることもあります。

子ども発達サポートセンターまで
お気軽にご相談ください

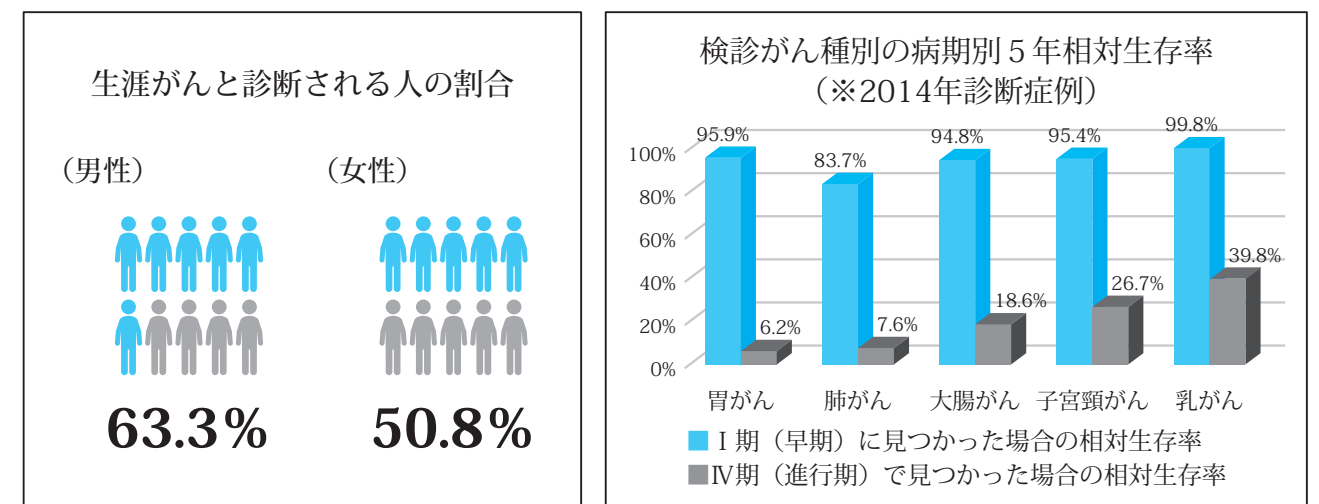
★がん検診を受けましょう★

がんは近年の医療技術の向上により、早期発見・早期治療で昔に比べて治りやすい病気となりました。

生涯に男性は63.3%、女性は50.8%の割合でがんと診断されています。また2人に1人が何かしらのがんに罹患しているのが現状です。

検診がん種別の病期別5年相対生存率をみると、早期にがんを発見し治療した場合、進行期にがんを発見し治療した場合よりも5年後の相対生存率（注1）が大幅に高くなることが分かっています。自分のがんにならないから大丈夫、自覚症状もないから病院受診は必要ないと思いませんか？

がんは自覚症状がほとんど出ないため、町のがん検診を利用して、定期的に身体の状態をチェックしましょう。



参考：国立がん研究センターがん情報サービス

注1) 相対生存率：他の病気等による死亡の影響を取り除いた生存率

がん検診のご案内

下記の日程で受けることができます。

- 総合福祉センター「しゃるる」
10月14日(火) 7:30～
12月7日(日) 7:30～
- 札幌がん検診センター(無料送迎バスあり)
11月4日(火) 役場集合時間：7時50分
※がん検診と併せて、特定健診も受診できます。

【申込先】健康推進グループ
0123-73-2256

インターネット予約はこちら→
※受診できる項目等の詳細は
5月広報折込「保健サービスガイド」をご覧ください。



献血のお願い

献血にて提供された血液は、がんをはじめとした病気やけがの治療に役立てられます。輸血を必要とする方のために、皆様のご協力をお願いします。

10月27日(月)

- ・内田鍛工株式会社
9:30～10:45
- ・日本高圧コンクリート株式会社
12:15～13:00
- ・栗山町役場
13:45～16:30